

## 4 地区別計画 地区の声を活かした目標や活動内容

区内15地区ごとの目標や取組の計画です。自治会町内会の役員の方や地域活動をされている方を中心に感染症対策をして話し合いを重ね、地域の皆さんの声を反映して、第4期プランをつくりました。

永谷地区、下永谷地区、永野地区、日野第一地区、日野南地区、港南台地区、日野地区、日下地区、菅下地区、大久保最戸地区、上大岡地区、日野南地区、野庭住宅地区、野庭団地地区、ひざり地区、日野南地区、永野地区、下永谷地区、ひざり地区、永野地区、野庭住宅地区、日野南地区、港南台地区、日野地区、日下地区

### ●あなたの住むまちにも計画があります。

「この地域に暮らしてよかった」と思える地域を目指して、皆さんも一緒に活動してみませんか？  
地区別計画は、各地区リーフレットまたは、港南ひまわりプラン冊子にてご覧ください。

### 「港南ひまわりプラン」をぜひ手に取ってください！

区役所5階50番窓口、区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザで冊子を配布しています。  
また、区ホームページからもダウンロードできます。

第4期港南ひまわりプラン

検索



[https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kurashi/fukushi\\_kaigo/chiikifukushi/fukushi-plan/4plan.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kurashi/fukushi_kaigo/chiikifukushi/fukushi-plan/4plan.html)

### 令和3年3月発行 第4期 港南ひまわりプラン 概要版

事務局・連絡先

港南区役所 福祉保健課 事務企画担当

〒233-0003 港南区港南 4-2-10

TEL 045-847-8441 / FAX 045-846-5981  
Eメール: kn-tifukuplan@city.yokohama.jp

社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

〒233-0003 港南区港南 4-2-8 3階  
港南区福祉保健活動拠点内

TEL 045-841-0256 / FAX 045-846-4117  
Eメール: toiwase@kounan-shakyo.jp

※「障害」の表記について、第3期プランの検討の際に制度や組織・団体の名称など固有名詞として使われる場合以外は、「障がい」と表記することとしました。第4期も継承していきます。

# ～ふだんのくらしをしあわせに～

第4期港南区地域福祉保健計画

# 港南ひまわりプラン

計画期間：令和3～7年度(2021～2025年度)



第4期  
港南ひまわりプランの  
完成記念に、  
策定に関わった方々の  
写真を使った  
「モザイクアート」を  
作成しました！！

## こんなまちになったらいいな



※表紙のイラストは、区民の皆様の作品を掲載しています。  
令和2年度港南区ひまわりの花 絵画コンクール入賞作品、区内障害者施設等利用者の作品、  
こうなん子どもゆめワールド2020に来場した子ども達が描いてくれた「こんなまちになったらいいなカード」



港南区地域福祉保健推進協議会  
港南区地域ケアプラザ・港南区社会福祉協議会・港南区役所

# 1 「第4期港南ひまわりプラン(地域福祉保健計画)」とは

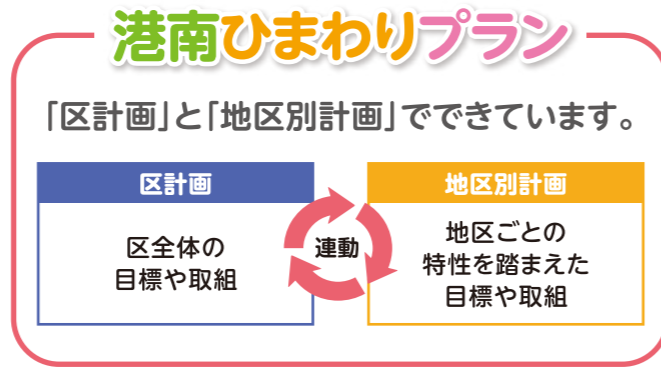
**基本理念** ぶだんのくらしを しあわせに

**目標** 一人ひとりがつながり、見守り・支えあえるまちを みんなで育てる

誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに生活でき、地域の中でお互いに支えあえるよう、区民の皆さん・活動団体・行政等が協力して地域をより良くしていくための計画です。

第1期から第3期までの基本理念を受け継ぎながら、第4期では一人ひとりが意識し、身近な行動につなげられるよう、「見守り・支えあい」を目標に加えました。

※「港南ひまわりプラン」は、港南区地域福祉保健計画の愛称です。



# 2 プランを進めていくために

このプランは、区民の皆さん、活動団体、事業者、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所等が協働して、基本理念や目標を踏まえて、活動を進めていきます。

どのような取組を行えたのか、どのような効果があったのか、などの振り返り(計画3年目・5年目)を行うことで、今後の活動に活かしていきます。



振り返りを行うにあたっては、次の3つの視点で考えます。

- 課題解決の視点**  
地域にとってどのような良いことが起こったか
- 住民参画の視点**  
地域の皆さんで、積極的に取り組めたか
- 協働の視点**  
いろいろな人や団体と一緒に取り組めたか



# 3 区計画 目標達成に向けた「4つのアクション」と「12の取組」～みんなで一緒にこんなことをやっていきましょう～

第4期プランでは、「知る」「つながる」「できることをやる」「支えあう」を「アクション」として位置付けます。また、特定の世代に限らず、生活に困りごとがある人や複合的な課題がある世帯が増えていることから、分野を超えて、特に「12」のことに、区民の皆さん、活動団体、行政などが協力して取り組んでいくこととします。

- 障がいや認知症など それぞれの違いや多様性を知ろう**
  - ① 多様性の理解
    - 一人ひとりの個性や違いを理解しよう
    - 様々な方の思いや考えを知る機会をつくろう
    - あなたの困りごとや知っておいてほしいことを伝えよう
- 必要な人に必要な情報を届けよう**
  - ② 情報を伝える
    - 伝えたい相手に合わせて伝え方や媒体を工夫しよう
    - まちの中の「魅力・役立つ情報」「気を付けた方がいいこと」などを身近な人に伝えよう
- 暮らしている地域のことに興味を持とう**
  - ③ 地域への興味・関心
    - 回覧板や地域の掲示板、広報誌などで地域の情報を知ろう
    - 地域にあるいいものを大切に、次世代へ魅力を伝えていこう
- ちょっとした気づきをまわりの人につなげよう**
  - ⑩ ちょっとした気づき
    - 日頃から顔を合わせ、話をする機会を増やし、まわりの人々へちょっとした関心を寄せてみよう
    - 近所の人の変化に気づいたら、その気づきを伝え、見守ろう
- 子ども・青少年の育ちを地域で見守ろう**
  - ⑪ 子ども・青少年の育ち
    - 子どもが安心して遊び、話せる環境をつくろう
    - 子育て中の方や青少年が孤立しないよう、交流をはかり、あたたかく見守ろう
- ふだんから災害時にも助け合えるつながりをつくろう**
  - ⑫ ふだんからの助け合い
    - 日頃のあいさつや声掛けを大切に、近所で、いざというときに助けあえるまちにしよう
    - 助けを必要とするかもしれないことを近所に伝えておこう



- いろいろな世代や地域の団体同士がつながろう**
  - ④ 世代・団体の交流
    - あらゆる世代が参加できるイベントや活動を広げよう
    - 教えてほしいことや困っていることなどを団体同士で共有し、助け合おう
- 誰もが安心して集まれる場 つながる場を広げよう**
  - ⑤ 集いの場
    - 地域のサロンやカフェなどに行ってみよう
    - 地域や社会の状況に合わせて場のかたちを工夫しよう
- 企業や商店・施設も地域とのつながりを広げよう**
  - ⑥ 企業・商店・施設との交流
    - 地域と企業などがお互いに知り合う機会を大切にしよう
    - 施設に向かい見学や交流することで理解を深めよう
    - 企業や商店・施設の強みを地域の中で活かそう
- 自分自身のこと 家族のこれからを考えよう**
  - ⑦ 自分や家族の将来
    - 自分の思いを伝えられる人、受け止めてくれる人を見つけよう
    - 自分や家族の将来のために、介護や医療、成年後見制度などの仕組みや手続きを知ろう
- 一人でも仲間同士でも健康づくりに取り組もう**
  - ⑧ 心からの健康づくり
    - 定期的に自分の健康状態を確認し、生活習慣を見直そう
    - 子どもたちに健康の大切さを伝えていこう
    - 地域の活動や行事に健康づくりの視点を取り入れよう
- 子どもも働き世代もシニアもみんなが地域で活躍しよう**
  - ⑨ 地域での役割・活躍
    - 自分が地域の中で何ができるか考えてみよう
    - イベントや地域活動を企画・開催するときには具体的な協力を呼びかけ、みんなで一緒に考え取り組もう